

THE RECORD 12

1998
No.469

- I F P I 理事会報告
- 第5回FMフォーラム開催
- 総合音楽データベースの開発と運用システムの構築
- 統計資料-1997年レパートリー別市場金額構成比

RIA
Recording Industry Association of Japan

著作権・その他

不正協視察ツアー実施

民間の商標・著作権の管理団体が参加している「不正商品対策協議会」では、毎年秋、警察庁の協力を得てアジア圏の不正商品流通状況及びこれに対する対処状況を視察するツアーを実施していますが、本年度はマニラ・台北にて、10月26日から31日にかけて実施しました。

いづれにおいても、不正商品の取り締まりに関する警察機関と民間団体との協同体制についてのヒアリングと、不正商品の市場流通状況を調査しました。

フィリピンでは音楽物の不正商品はあまりありませんでしたが、ブランド商品の不正品はかなり大量に見受けられました。

台北では音楽関係の不正商品がかなり横行しており、同地では日本の音楽・特にアイドル系アーティストの人気の高い中で、これらの不正商品はとても多く悪質です。台湾は、自らが国際条約に加入できないという事情があるために保護される権利に限られる現状があることも事実ですが、日本への影響を考えると、何らかの対策が必要であると言えます。

なお、今回はIFPI台湾支部との意見交換の場も設けられ、席上その代表から「台湾がWTO条約に加盟するよう国家レベルで働きかけて欲しい」「台湾で違法品が出廻っても、実際立件することがかなり困難なことが多いので、その場合を想定して、日本のレコードメーカーは違法対策が可能となるライセンス契約書を作成して欲しい」等の要望が出されました。

権利の執行に関する協力事業スタート

本事業は、日本の著作物、レコード等がアジア地域各国において権利侵害を受けたとき、どのような執行活動が可能かを調査研究することを主な目的として、今年度からスタートしました。

この事業遂行のため、文化庁を事務局として、日本音楽著作権協会、映像ソフト協会、コンピュータソフトウェア著作権協会、日本レコード協会から各1名の担当者と有識者(弁護士)から成る「権利の執行に関する協力事業協力者会議」が、今年6月に設置されました。

これは今年度1年に限らず、数年間継続する予定で、年1〜2回、対象となる国若しくは地域を特定して調査研究をし、日本の権利者に視するための報告書(実践的マニュアル)を作成することとしています。

同事業の初年度の活動として、10月26日から同30日までの間、韓国を訪問し、現地調査を実施しました。

同調査では、各関係団体のカウンターパートの団体、その団体に関係する法律専門家、弁護士事務所等を訪問し、同国の法制度と法解釈、具体的な訴訟手続き、取締機関との関係、訴訟費用等に関し、非常に友好的に情報の提供を受けることができました。

また、協力者会議が訪韓した時期と同国の金大中大統領が日本文化開放を発表した時期が殆ど同時であったため、特に同国の音楽産業は今回の調査に大きな関心を示し、同調査団の訪韓は一部の新聞でも報道されました。

第5回FMフォーラム開催

11月12〜13日の2日間にわたり、東京国際フォーラムにおいて、FMフォーラム実行委員会主催、当協会・社団法人音楽出版社協会後援による第5回FMフォーラムが開催されました。

FMフォーラムはオフィシャル・ブックレットの序文にある通り、「複数の業界が手を組み、さらにはそれぞれから有志が集まり自らが運営、開催している〜今日のように業界全体の問題、課題が山積みされている時には、業界レベルの対応、さらにはシステム/構造的シフトが不可欠であり、そこには多くの意見、知恵が必要です。その貴重な意見が集まる場に、また課題と取り組む新たな展開や試みがスタートする場にF

Mフォーラムがなれば、と願う」事から毎年開催され、今回で5年目を迎えました。

今年も、ビルボード誌の11月14日号でFMフォーラムの紹介を全世界へ発信したり、ショウケース・ライブに一般リスナー500組1,000名を関東圏FM6局で招待したりと、初めての試みがなされました。特に1日目に開催されたショウケース・ライブでは午後6時30分から次の7組のアーティストが3時間に渡り熱演を繰り広げ、観客総立ちの場面も多々有り、招待された一般リスナーは素晴らしいステージを堪能しました。また、アーティストにとってもさらなる飛躍への第一歩となった事とでしょう。

(出演アーティスト・出演順)

N-タイス (ソニー・ミュージックエンタテインメント)

リアン・ライムス (日本コロムビア)

ジェシカ (エイベックス)

アナザー・レヴェル (BMG ジャパン)

エリン (キングレコード)

デブラ・モーガン (ポリドール)

ダコタ・ムーン (イーストウエスト・ジャパン) 1日目のショウケース・ライブの前には、パネル・ディスカッションが行われ、参加者500名が次の7テーマにわかれ、活発な議論を展開しました。

「最新U.S.A. ラジオ・レポート〜好調なアメリカのラジオの秘訣を探る〜」

「くわぎざらい?売れる!ダンス・ミュージックを分析する」

「映画からのヒット作り〜タイタニックにつづけ!」

「洋楽のための著作権講座」

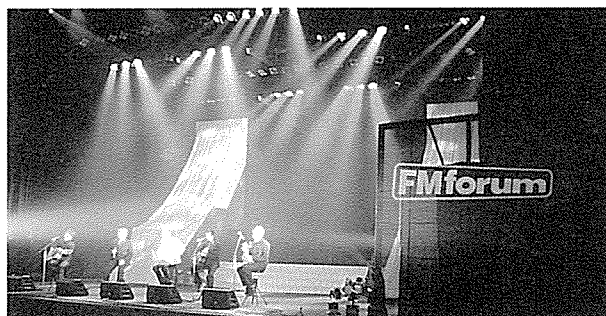
「現代ヒットの力学」

「これが洋楽の生きる道〜21世紀へ向けての洋楽

マーケット徹底検証」

「アメリカン・ポップス大研究&ラジオ戦略」

1日目の夜は、ショウケース・ライブの余韻を残しながら、10時過ぎFMフォーラム参加者は場所を六本木・ヴェルファーレに移し、それぞれの思いを熱く語り合う事となった。



2日目は、午前10時から日本総研の田坂広志氏を迎え、「パラダイムシフトを迎えたソフトビジネス」と題して、「複雑系」を中心としたマーケットに対する考え方の講演が、時には音楽業界並びに業界人に対しての厳しい指摘をまじえながら、1時間30分にわたって行われた。

続いて、法政大学の稲増龍夫教授を司会に、秋元

康氏(作詞家)、岡康道氏(電通)、五味一男氏(日本テレビ)の各氏を迎えて、パネル・ディスカッション「ヒットの近未来〜21世紀への透視〜」が行われた。

午後からはビデオ・プレゼンテーション(両日にわたり開催)を挟んでマーケット&ミーティングが、前日のショウケース・ライブに出演した一部のアーティストも参加して行われ、両業界の人の交流やビジネスを促進した。

クロージング・パーティでは、FMフォーラムの発案者の一人でもある東芝EMIの斉藤正明社長の挨拶があり、歓談の後、2日間に渡って司会進行を努められたインターFMの友田進部長から、来年に向けてのアピールも含めた閉会の辞があり、盛りだくさんの2日間の行事を締め括ると共に、参加者全員で来年に向けての第一歩を誓いつつ、第5回FMフォーラムは終了した。

著作権関係：その他

カラオケ対策委員会 「みんなでなくそう不法ダビング IN 札幌／仙台」開催

同委員会は、「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の一環として、去る11月11日・札幌グランドホテル、同12日・仙台ホテルにおいて、「みんなでなくそう不法ダビング IN 札幌／仙台」と題する懇談会を開催しました。

当日は、地元のカラオケ教室関係者・マスコミを中心として札幌130名、仙台110名が参加しました。

会場では、委員会役員、著名作家から、演歌・歌謡曲を取り巻く厳しい現状を訴えると共に、どのような場合に権利侵害となるのかなどについて説明、不法ダビングの実態とその影響を解説したVTRの上映（同委員会が各地で開催している著作権講習会で、必ず教室関係者から熱望される「キーを下げたカラオケ」や「過去のヒット曲のカラオケ」なども紹介）を行い、「カラオケ教室やカラオケ大会では、市販商品をご使用下さい」と強く訴え、キャンペーンへの理解と協力を求めました。

さらに、質疑応答の後、山形くるみ、田村恵によるミニ・ライブが催され、盛況の内に終了しました。なお、委員会側の出席者は次のとおりです。

(敬称略)

委員会… 木村 三郎委員長、木村 豊副委員長、寺本 幸司副委員長（仙台のみ）、丸山 善光事務局長
作家… 遠藤 実、荒木とよひさ、鈴木 淳（札幌のみ）、中山大三郎（札幌のみ）、三木 たかし（仙台のみ）

同委員会では、昨年11月に福岡・広島で実施した同様の懇談会が契機となって、西日本地区での演歌・歌謡曲商品のまとめ買いが増えてきた経緯もあり、今回の懇談会を皮切りとして、北海道・東北地区の啓蒙活動が大きな輪に展開することを期待しています。



■国際音楽の日「We Love Musicキャンペーン」 当選者決まる

9月20日から10月20日の間、当協会の本年度の需要拡大事業として、「10月1日／国際音楽の日 We Love Musicキャンペーン」（文化庁後援）を実施しましたがその結果、キャンペーンクイズに全国から25万947通の応募がありました。

このキャンペーンクイズに応募された方の中から、この度厳正な抽選を行い、音楽ギフトカード賞（3千円分の音楽ギフトカード）は北海道の西村嘉倫様他9,999名の方が、ダブルチャンス賞（液晶画面付きポータブルDVDプレーヤ）には千葉県的小林照男様他9名の方が当選されました。

なお、当選者の発表は、インターネット（<http://www.Japan-music.or.jp/>）でも行っています。

IFPI中央理事会開催される

IFPIの中央理事会が去る10月22日、久方振りにIFPI本部があるロンドンで開催され、日本からは当協会池口会長と千葉常務理事が出席しました。

従来、IFPI理事会の議題としては海賊版問題が中心となるが多かったのですが、最近では、デジタル化の進展に伴う技術問題が大きなウエイトを占めるようになり、今回の理事会においても、MP3問題、CD-R問題、私的録音問題、電子流通、MUSEプロジェクト等大半が技術問題に費やされる結果となりました。このため会議では、オーディオ技術先進国の日本の動向が注目され、池口会長からは、スターデジオ訴訟の件、権利者6団体でのMP3問題への対応、民生用CD-Rの政令指定、急激なMDの普及によるホームテーピング問題の再燃、当協会としてのネットワークへの対応策等、幅広く日本の動向が報告されました。

また最近の世界の市場動向では、日本を除くアジア地域の急激な落ち込み状況が報告され、併せて懸案となっている日本の統計数字におけるネット（正味）販売額が話題となりましたが、これに対し池口会長からは1999年より日本においても、正味出荷データにより統計数値を把握し発表するよう当協会の理事会で決定されたことが紹介されました。

なお会議前夜に催されたBPI（英国レコード協会）及びIFPI共催のカクテルパーティーは、主催者側の尽力により、由緒ある英国議会の中にあるレセプションルームで開かれましたが、テムズ川に面した歴史的な建物の中での歓談の機会は、参加者にとっても良い思い出となりました。

先進的情報システム開発事業

通産省・補正予算事業「先進的情報システム開発実証事業」 総合音楽データベースの開発と運用システムの構築

将来のネットワーク流通を視野に入れて、音楽産業の秩序ある環境整備とEC技術（電子商取引）のノウハウを蓄積するために、本年度4月、日本レコード協会内に「システム開発室」を新設。合わせて、通産省・補正予算事業「先進的情報システム開発実証事業」に応募。その結果、12月1日付けで、テーマ「総合音楽データベースの開発と運用システムの構築」が採用となり推進する運びとなった。

1. 総合音楽DB(Data Base)構築の構想

1-1. 背景

①デジタル流通技術の急速な発展と大衆化

ネットワーク配信やデジタル放送など、コンテンツのデジタル流通技術の急速な発展と大衆化により、一般消費者は手軽にデジタル・コンテンツを扱うことが出来るようになった。そして、個人Webサイトへの無許諾アップロードなどの違法行為をも生み出し、レコード製作者に対する多大な権利侵害を引き起こし始めている。

②放送のデジタル化と多チャンネル時代

メディア環境としては、CS放送を筆頭にデジタル化への流れが本格化してきており、2000年にはBSデジタル放送も開始される。多チャンネル時代を迎え、幅広い音楽コンテンツが求められている。放送業界独自の音楽DB構築の動きもあるが、正当な権利者による総合音楽DBの構築が、それに代わるものとして期待される。

③業界EDI(電子データ変換)の遅れと音楽業界内のリエンジニアリング

音楽業界は他の産業と比較して、コンテンツのデジタル化等に関しては他を圧倒的にリードしている。しかしながら、「コンテンツ(音楽)の製作」から「消費者に渡る」あるいは「放送などで二次使用される」までを範囲とした統一された体系、いわゆる「業界EDI」は確立されていない。デジタル・データの共有がないまま、音楽業界全体が非効率的なワークフローに甘んじている。「業界EDI」による権利管理の基盤整備が急がれる。

④新譜偏重のパッケージ商品市場/パッケージの補完

パッケージ商品の市場は、若年化傾向にあり、新譜偏重となっている。安定した市場を確保するために、定番商品としての旧譜の活性化が求められている。ネットワーク流通へのレコード製作者の期待は、こうしたパッケージ商品の補完としての役割にある。これに対応した過去の膨大な音楽資産(旧譜)を管理するためのシステムが求められている。

1-2. 目的

総合音楽DBのシステムの構築には、次の4つの目的がある。

①パッケージ事業の活性化

レコード店頭試聴システムに対し、あらゆるリクエストに応じたサンプル音源の供給をネットワーク環境で行い、現在の業態の活性化を図る。

②将来のネットワーク流通への対応

レコード製作者が権利を自ら行使できるネットワーク流通事業に向けたインフラを構築する。

③違法なコンテンツ使用の抑止

正当な権利者によってライセンスされたコンテンツを供給することにより、違法なコンテンツの配信を抑止する。

④放送のデジタル化への対応

放送のデジタル化に向けた、新たな音源供給システム及び二次使用料の徴収・分配システムの確立。

1-3. 本データベースの特徴

①将来は、レコード会社DBの統合によるバーチャルRDBを目指す

DBの将来像は、各レコード会社がDBを持ち、それらを一元化するために「ゲートウェイ」としてのサーバーをWebサイトに置くことを目指す。サイト運営者は、各レコード製作者と便宜的に「送信可能化権」の管理委託契約を結ぶことになるが、音源の管理がレコード会社によって行われることにより、配信行為も実質的にレコード会社によってコントロールできる。大規模な分散型のシステムを目指す。ただし、実証実験を含め当面は体制、技術、コストの面から、中央集中型、分散型のバランスを持って対応し、将来像に向けて段階的に展開して行く。

②共通ID「ISRC」を軸に業界EDIのコード体系を確立

原盤に付番されているISRCをキーコードとして、各種周辺データ(音源、ジャケット写真、プロモーションビデオ、アーティストデータ他)を機能的に結合させ、さらに、諸権利データ(著作、原盤、出版、演奏他)との結合を見据えた、業界EDIとなり得るコード体系を持つ。

③すべてのデータは、発生個所にて登録を基本とする

データ入力、レコード会社のワークフローを分析し、各社システムと連動した形で、データ発生時あるいは、マスターテープ制作時、レーベルコピー作成時等に取り込む。また、業界EDIとして、共有可能な標準フォーマットを持つ。なお、当面の入力及び旧譜等は、入力機関(I/Oセンター)を設けて行う。

④ 直接一般消費者への配信は行わず、音楽二次利用産業への提供を事業とする

このDBシステムの直接の利用者としては、放送局(TV、ラジオ)、レコード店店頭システム、ネットワーク音楽配信会社、及びその他音楽配信会社(CATV系、衛星系)などの音楽二次利用産業を想定。

2. 総合音楽DBの実証実験

2-1. 実証実験の概要

通産省・補正予算事業として今回予定している総合音楽DBシステムの概要は「図1」のように、マザーDB、データ入力システム、個別DBで構成される。

データはデータ入力システムで入力され、マザーDBに蓄積され、各利用者から要求に応じて個別DBに複製され、利用される。個別DBとしては、放送局用選曲システム、放送使用実態補足システム、レコード店店頭試聴システム、WWW試聴システム等がある。

2-2. 実証実験に向けた技術テーマ

①RDBの設計と構築

ISRCをキーとして、オーディオ、動画、静止画など、複数のファイルを同時に扱うことが可能なRDBの設計と構築。この実験により各レコード会社で行われるRDB構築における標準仕様を確定する。

- ・各種コンテンツのファイル形式の決定。
- ・本RDB稼動に伴う権利情報のログ化プログラムの開発

・各種データの入力

②音源サーバーの構築

CDなどから複製して、音源データを固定するサーバーの設計と構築。この実験によって、各レコード会社で行われる音源サーバー構築における標準仕様を確定する。

- ・サーバーに固定される非圧縮音源ファイル形式の決定。
- ・ファイル自動生成プログラムの開発(音源固定作業の効率化)
- ・電子透かし技術の選択及び自動埋め込みプログラムの開発
- ・音源データの固定

③各種試聴システムへの対応

リクエストによるWeb上での試聴や、レコード店店頭試聴システムへの対応。

- ・試聴検索システム及びファイル形式の決定・開発
- ・レコード店店頭試聴システムへの対応

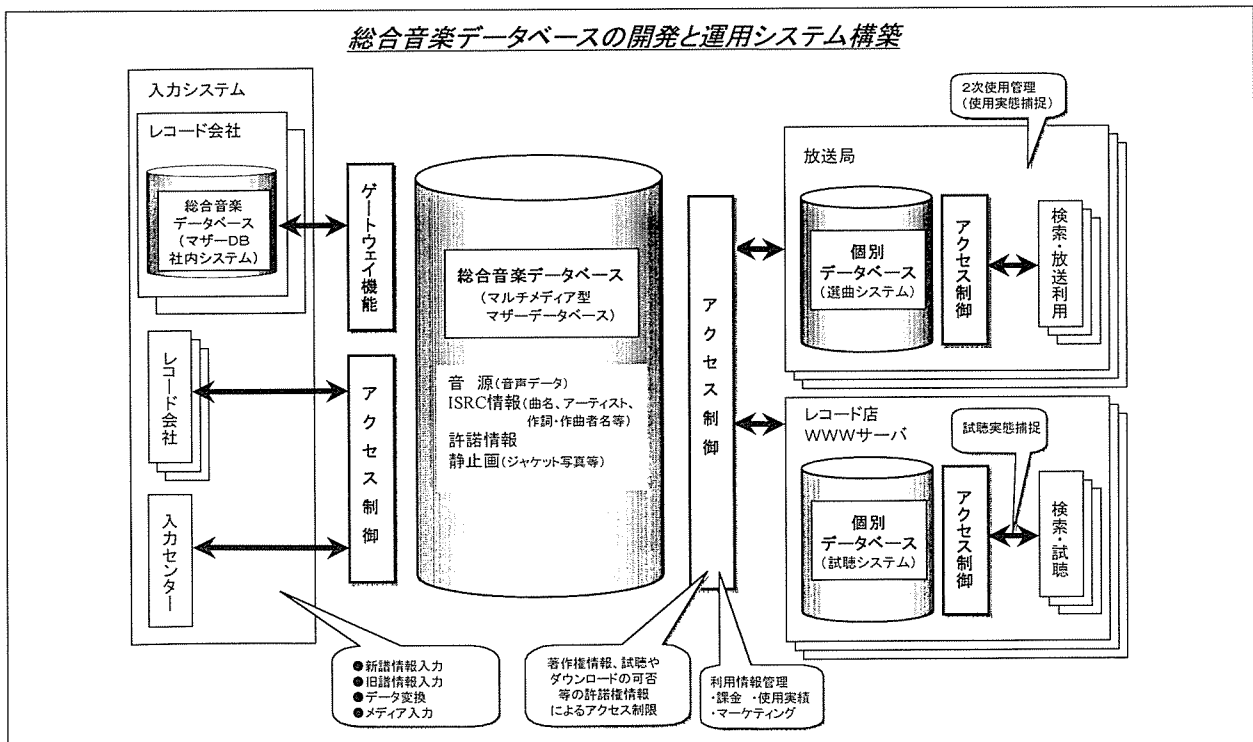
④放送対応システムの開発

本システムを利用した、放送局の制作現場で使用できる選曲試聴システム、及び放送音源として使用できるシステムの開発。

- ・放送局とのシステム共同開発
- ・放送局向けのファイル形式の決定・開発

以上

図1 実証実験の概要



再販・その他

レコード各社、再販制度の新たな弾力的取組みを順次発表

本年3月31日、公正取引委員会は、著作物再販制度の見直しに関し、「音楽用CD等の著作物再販は、競争政策の観点からは廃止の方向で検討すべきだが、文化の振興・普及面も配慮検討する必要があるので、引き続き検討を行うものとし、一定期間経過後（3年後）に存廃についての結論を得る。また、関係業界に対して、消費者利益確保の観点から、再販制度に関する弾力的な運用と流通改善について是正措置を求める。」旨、公表しました。

このような公取の検討結果を受けて、レコード各社は、下記の通り再販制度の新たな弾力運用を順次発表しました。

<東芝EMI>9月12日発表

シングル盤（邦洋）の時限再販期間を11月発売分から現行の2年間に1年間に短縮する。

<日本コロムビア>10月27日発表

シングル盤（邦洋）の時限再販期間を明年1月21日発売分から現行の2年間に1年間に短縮する。

<ソニー・ミュージックエンタテインメント>11月4日発表

シングル盤（邦洋）及び洋楽アルバムの時限再販期間を明年1月21日発売分から現行の2年間から6ヶ月間に短縮し、また、クラシックアルバムについては2月20日発売分から6ヶ月間に短縮する。

<ポニーキャニオン>11月18日発表

8cmシングルCD・シングルカセット（邦洋）の時限再販期間を明年1月20日発売分から現行の2年間に1年間に短縮する。

なお、レコード業界では、再販制度の弾力運用に関しては、92年4月以降各社自主的に前向きに取組み、2年間の時限再販制度の導入、廃盤セールの実施、多種多様な価格帯の設定を行ってきております。

本年の廃盤セール（10/18～19）は、東京ビッグサイトでオーディオEXPOと共同開催し、再販の弾力運用並びにユーザーサービスの一環として、通常の廃盤の他に輸入盤や発売2年経過した洋盤の一部を割り引き販売し、レコードユーザーに大変喜ばれました。

IFPIマーケットリサーチ・統計委員会報告

IFPIのマーケットリサーチ委員会が11月19～20日ニューヨークで開催され、当協会から山田業務部長が出席しました。

当委員会の名称は、一昨年までは単に「統計委員会」と称していましたが、昨年からは標記名称に改められました。当委員会では、各国のマーケット情報の標準化を図り、よりの確にデータを収集して会員へフィードバックするために努力しています。また当委員会は毎年2回開催されていますが、日本からの参加は1年半ぶりです。

今回の会議には、30ヶ国のナショナルグループ・メンバーとアメリカの6大メジャーの担当責任者が出席し、活発な討議が行われました。

◎主な議題

①市場データ報告に関する標準化の問題

日本は、IFPIに対して「生産実績」を基に、今まで各種データを報告して来ましたが、先月ロンドンで開催されたIFPI中央理事会で当協会の池口会長が表明した通り、来年（'98年度分）からは、欧米諸国と同様に「ネット出荷実績」を基に報告できるようになった旨を詳しく説明し、各国から感謝されました。なお、日本からの実際の報告数字は、いままでは欧米諸国のネット出荷数字との整合性が求められていたため、「生産実績の80%」をネット出荷実績と見なして報告してきました。

②市場概況（'98/1～6売上前年同期比）

	数量伸長	金額伸長（現地通貨）
アメリカ	+8%	+12%
日本	+6%	+4%
ドイツ	-7%	-6%
イギリス	+6%	+3%
フランス	-5%	-1%
韓国	-54%	-70%
香港	-33%	-24%
台湾	-30%	-35%
シンガポール	-24%	-26%
フィリピン	-19%	-35%
アジア(日本除く)	-30%	-41%
オーストラリア		
+ニュージーランド	0%	+2%
ヨーロッパ全体	-1%	+1%
全世界	+3%	+5%

③新調査と公表

より詳細なジャンル区分やルート別セール、シングル形態区分、音楽オンライン等について意見交換されました。

上記諸議題につき、日本の状況を説明し出席者から大きな関心をいただきました。

JASRAC新理事長決定

JASRACの新しい理事長に前参議院議員の小野清子氏が就任しました。（11月4日付）

協会の役員（理事）交代

（株）BMGジャパン

11月1日付で理事の交代がありました。

（敬称略）新任：田代秀彦

退任：佐藤 修

会員会社関係の変更をご紹介します。

マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(株)
住所変更（12月28日業務開始）
新住所：〒153-0004 東京都目黒区大橋1-8-4

世界の話

レコード産業、WIPO条約の批准を要求

IFPI（国際レコード産業連盟）は、米国議会がデジタル・メラニウム著作権法(DMCA)を通過させたことを賞賛しています。IFPIはEUや各国政府がアメリカの例に習い、WIPO（国際知的所有権機関）条約批准のための法制を整備することを求めています。この条約は1996年に成立しましたが、デジタル時代の音楽作品の取引や投資をするために世界的に重要な枠組みです。

DMCAは10月28日にクリントン大統領が署名をし、インタラクティブ・デジタル送信でのレコードの利用可能化権、著作者とレコード製作者が著作物に施した技術的手段の保護を享受する権利、デジタル環境で送信された著作権管理情報の保護を享受する権利を含め、一般的に著作物の著作者同様に、実演家やレコード製作者に新しい重要な権利を保証しています。

更に、DMCAはオンライン仲介業者のシステムを通じての利用者の著作権侵害に対する仲介業者の責任について、合意された解決案を立法化しています。

世界最大の音楽市場であるアメリカは、インターネット時代の著作権保護の原則を適用する時期に来たことを自ら示しました。アメリカのWIPO条約の批准は、安全性、世界でのオンライン商業の発展に拍車をかけ、各国の条約批准を促すものです。

50か国がWIPOの2つの条約に署名しましたが、まだ5か国しか批准していません。IFPIは責任があり、電子商取引をリードするアメリカに見合うよう、法的にも、世界的に調和した方法でEUが早急に動くように強く促します。 (IFPIプレス98.11.03)

オンラインでの小売増加(ニューヨーク)

利益は未だ出ていないものの、インターネットでの音楽配信事業は拡大され、競争が激しくなっています。以下は数社の主な事業内容です。

①バーンズ・アンド・ノーブル・コム

(オンライン書籍販売業者)

同社は、来年2月から始まる第1四半期にオンライン音楽・ビデオ店をスタート。

②ホエアハウス

今年末までにインターネットでのカスタムCD販売を開始。来年3月にはオンライン音楽販売店を開店。

③トランス・ワールド

30万曲以上の楽曲と多数のビデオのオンライン販売店を設置する。

④アマゾン・コム

書籍業界から参入し、わずか半年で第一線の音楽配信業者となった同社は、契約のないアーティストやインディーズ・レーベルのインターネット販売を開始。

メジャーレコード会社がバーンズ・アンド・ノーブル・コム株の50%を2億ドルで買収しました。同社が他の配信業者と異なる点はクラシック、オペラ、ジャズ、ショー音楽に焦点を当て、メジャー歌手よりもクラシックでの音楽をのばしています。また、30万以上のアルバムと14万の映画の情報を持つ、あるエンターテインメント・データベースの独占使用についても契約を交わしています。また、IPO（イニシアル・パブリック・オファー）も来年始めに開始します。

異業種からの新規参入したアマゾン・コムの急成長は、同業者間での合併を促しました。同社は7-9月期に1,400万ドルの音楽を売り上げました。

カスタムCDの事業にも今年末までにはあと数社が参入し、消費者はカスタムCDと完成品の両方から商品を選択することができます。

アトランタにある会社は、レコード会社から権利を得て、インターネット小売業者に許諾を出しています。デジタル音楽配信業者は、これからもっと多くのレコード会社がデジタルで音楽配信を始めるだろうと述べています。 (ビルボード98.11.14)

会議メモ (主なもの)

(11月1日～11月30日)

11・1 日本GD大賞ディーラーWG
11・5 洋楽著作権講座
11・9 JASRAC委員会・交渉会議
11・10 レコード制作基準倫理委員会

営業部会
11・11 著作権部会
11・17 インターネット部会
需要拡大委員会
11・18 業務委員会
カラオケ改訂商品検討会
洋楽部会
11・19 二次使用料委員会
調査統計部会

邦楽制作部会
11・20 日本GD大賞マスコミWG
11・24 洋楽企画専門部会
技術委員会
11・25 ビデオ部会
11・26 洋楽宣伝専門部会
11・27 理事会



HIT CHART DATA 1998年10月度(98年9月21日～98年10月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	snow drop	ラルク・アン・シエル	98.10.07	SME
2.	forbidden lover	ラルク・アン・シエル	98.10.14	SME
3.	NECESSARY	Every Little Thing	98.09.30	AVT
4.	Sa Yo Na Ra	globe	98.09.23	AVT
5.	Perfume of love	globe	98.10.07	AVT
6.	sweet heart	globe	98.09.30	AVT
7.	THUNDERBIRD	T.M.Revolution	98.10.07	AR
■洋楽シングル BEST7				
1.	ラヴ	ジョン・レノン	98.10.07	TO
2.	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン～タイタニック・愛のテーマ～	セリーヌ・ディオナ	98.01.14	SME
3.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	97.10.25	WJ
4.	アイ・ドント・ウォント・トゥ・ウェイト	ポーラ・コール	98.04.05	WJ
5.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.07.25	WJ
6.	リアル・ワールド	マッチボックス20	96.09.25	EW
7.	ドラウンド・ワールド	マドンナ	98.09.25	WJ
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	長い間～Kiroroの森～	Kiroro	98.10.01	V
2.	the brilliant green	the brilliant green	98.09.19	SME
3.	B'z The Best "Treasure"	B'z	98.09.20	BM
4.	SAMURAI	長渕 剛	98.10.14	FL
5.	SECOND REUNION～The Best of Sing Like Talking～	シング・ライク・トーキング	98.09.30	FUN
6.	ア・リトル・サウス・オブ・サニティ	エアロスミス	98.10.14	UV
7.	アイノトビラ	松 たかこ	98.09.23	BMG
■クラシックアルバム BEST7				
1.	ヨーヨー・マ・プレイズ・ピアノソナ	ヨーヨー・マ	97.10.29	SME
2.	ヨーヨー・マ ベスト・アルバム	ヨーヨー・マ	98.10.01	SME
3.	この道 日本歌曲集	米良 美一	98.09.23	K
4.	ロマンツァ	アンドレア・ボチェリ (V.o.)	97.10.25	MME
5.	タンゴ：ゼロ・アワー	アストル・ピアソラ	98.09.05	WJ
6.	ショパン：ピアノ協奏曲第1番	ピリス(P)/ヴィヌ指揮/ヨーロッパ室内管弦楽団	98.09.18	PO
7.	ブラームス：ピアノ協奏曲第1番二短調作品	グレン・グールド (P)	98.10.01	SME
■洋楽アルバム BEST7				
1.	ア・リトル・サウス・オブ・サニティ	エアロスミス	98.10.14	UV
2.	ベスト・オブ・フィル・コリンズ	フィル・コリンズ	98.10.05	WJ
3.	ダンスマニア・エクストラ	ペリーニ、バス・ストップ 他	98.10.07	TO
4.	ダンスマニア・スピード	チャンバウンバ 他	98.09.23	TO
5.	グローブ・セッションズ	シェリル・クロウ	98.09.18	PO
6.	ミスエデュケーション	ローリン・ヒル	98.08.12	SME
7.	ア・コレクション～ベスト・オブ・マット・ピアンコ	マット・ピアンコ	98.09.23	V

※AL：アルファミュージック/AO：アムラ・オータウン・レコード/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：ルームスレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGジャパン/C：日本コロムビア/CA：カナリー企画/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/EP：ゼティマ/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレコード/IE：ジャニーズ・エンタテインメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/ME：メルダック/MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/QT：バルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN：SEHNA & CO./TA：ニュートラス/TDK：TDKコア/TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UV：ユニバーサル ビクター/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/VF：ヴェルファーレ/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ヴァインレコーズ

■アルバム (21作品)

【邦楽】

●4ミリオン

B'z The Best "Treasure"/B'z/98.09.20 (BM)

●トリプル・プラチナ

the brilliant green/the brilliant green/
98.09.19 (SME)

●ダブル・プラチナ

New Adventure/MY LITTLE LOVER/98.09.02
(TF)

長い間~Kiroroの森~/Kiroro/98.10.01 (V)

●ゴールド

TV Style/B'z/92.02.19 (BM)

サブウェイ特急/矢沢永吉/98.09.09 (TO)

LINDBERG BEST~FLIGHT RECORDER Ⅲ~/
LINDBERG/98.09.12 (TE)

yone's BODY & SOUL/米倉利紀/98.09.16 (PI)

アイノトビラ/松たかこ/98.09.23 (BMG)

SECOND REUNION~The Best of Sing Like
Talking~/シング・ライク・トーキング/98.09.30
(FUN)

SAMURAI/長瀬剛/98.10.14 (FL)

【洋楽】

●クワッドラブル・プラチナ

FALLING INTO YOU/セリーヌ・ディオーン/
96.03.14 (SME)

●ダブル・プラチナ

VISION OF LIVE/マライア・キャリー/92.06.25
(SME)

クルーエル・サマー/エイズ・オブ・ベイス/
98.08.01 (BMG)

●プラチナ

ア・リトル・サウス・オブ・サニティ/エアロスミス/
98.10.14 (UV)

●ゴールド

シティ・オブ・エンジェル/オリジナル・サウンドトラ
ック/98.05.25 (WJ)

スーパーユーロビートVOL.90アニヴァーサリー・ノンス
トップ・ミックス/マルコポーロ 他/98.08.19 (AVT)

グローブ・セッションズ/シェリル・クロウ/
98.09.18 (PO)

ダンスマニア・スピード/チャンバワンバ 他/
98.09.23 (TO)

ベスト・オブ・フィル・コリンズ/フィル・コリンズ/
98.10.05 (WJ)

ダンスマニア・エクストラ/ペリーニ、バス・ストップ
他/98.10.07 (TO)

■シングル (19作品)

【邦楽】

●ミリオン

snow drop/ラルク・アン・シエル/98.10.07
(SME)

●ダブル・プラチナ

太陽のKomachi Angel/B'z/90.06.13 (BM)

恋の大阪/八島義郎/98.05.21 (CA)

forbidden lover/ラルク・アン・シエル/98.10.14
(SME)

●プラチナ

愛しい人よ Good Night/B'z/98.10.24 (BM)

Sa Yo Na Ra/globe/98.09.23 (AVT)

NECESSARY/Every Little Thing/98.09.30
(AVT)

sweet heart/globe/98.09.30 (AVT)

Perfume of ove/globe/98.10.07 (AVT)

THUNDERBIRD/T.M.Revolution/98.10.07
(AR)

●ゴールド

哀愁港/田川寿美/95.02.25 (C)

POISON~言いたい事も言えないこんな世の中は~/
反町隆史/98.07.29 (MME)

未来航路/Siam's Eye/ラクリマ・クリスティール/
98.8.26 (PO)

叫び/野猿/98.09.17 (AVT)

alone in my room/鈴木あみ/98.09.17 (SME)

AHHHHH!/久保田利伸/98.09.18 (SME)

指切りげんまん/長瀬剛/98.09.23 (FL)

ジーンズ/プライベート/広末涼子/98.10.07 (WJ)

氷の上に立つように/小松未歩/98.10.14 (AO)

レコード生産実績

1998年10月度(98年10月1日～98年10月31日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

	10月実績						1998年(1月～10月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋	10,866	27	68	6,874	14	69	134,208	36	95	83,338	18	94
	計	62	0	30	38	0	46	952	0	63	547	0	71
	計	10,928	27	68	6,912	14	69	135,160	36	95	83,885	18	94
D	邦洋	19,414	48	115	28,433	57	100	166,354	44	111	283,807	60	113
	計	9,698	24	97	14,528	29	101	73,147	19	93	106,761	22	93
	計	29,111	72	108	42,961	86	100	239,501	64	105	390,568	82	107
アナログ	邦洋	30,280	75	92	35,306	71	92	300,562	80	103	367,145	77	108
	計	9,759	24	96	14,567	29	101	74,099	20	92	107,308	23	93
	計	40,039	100	93	49,873	100	95	374,662	100	101	474,453	100	104
合計	邦洋	96	0	91	95	0	83	612	0	92	726	0	88
	計	22	0	1,358	25	0	1,282	275	0	157	393	0	159
	計	118	0	110	120	0	103	887	0	106	1,120	0	105
合計	邦洋	30,376	76	92	35,402	71	92	301,174	80	103	367,871	77	108
	計	9,782	24	96	14,592	29	101	74,374	20	92	107,701	23	93
	計	40,157	100	93	49,993	100	95	375,548	100	101	475,572	100	104

2. オーディオテープ

	10月実績						1998年(1月～10月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋	2,297	99	107	2,298	99	103	18,038	99	98	14,910	99	94
	計	29	1	278	31	1	223	134	1	124	147	1	112
	計	2,326	100	108	2,330	100	104	18,172	100	99	15,057	100	95
カートリッジ	邦洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋	2,297	99	107	2,298	99	103	18,038	99	98	14,910	99	94
	計	29	1	278	31	1	223	134	1	124	147	1	112
	計	2,326	100	108	2,330	100	104	18,172	100	99	15,057	100	95

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	10月実績						1998年(1月～10月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	12,458	100	100	1,779	100	87	125,596	100	114	20,497	99	97
洋盤	0	0	0	0	0	0	39	0	36	138	1	45
合計	12,458	100	99	1,779	100	86	125,636	100	114	20,635	100	97

4. ビデオレコード

	10月実績						1998年(1月～10月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	992	34	89	2,472	27	93	8,802	32	97	22,915	25	93
テープ	1,944	66	92	6,736	73	95	18,864	68	106	70,004	75	107
合計	2,936	100	91	9,209	100	95	27,666	100	103	92,919	100	103

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	10月実績						1998年(1月～10月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	42,484	73	94	52,323	83	95	393,720	72	101	490,630	81	104
複合型CD	12,458	22	99	1,779	3	86	125,636	23	114	20,635	3	97
ビデオ	2,936	5	91	9,209	15	95	27,666	5	103	92,919	15	103
合計	57,877	100	95	63,310	100	95	547,022	100	104	604,183	100	103

備考 1. 本年実績は、会員会社「26社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. 12センチCDは修正を含んでいます。

1997年レパートリー別市場金額構成比

国名	国内楽曲	国外楽曲	クラシック	地方の音楽
オーストラリア	15%	75%	10%	—
ベルギー	15%	79%	6%	—
フィンランド	37%	57%	7%	—
フランス	48%	44%	7%	—
ドイツ	40%	50%	10%	—
イタリア	50%	43%	7%	—
オランダ	26%	65%	9%	—
ロシア	81%	16%	3%	—
スペイン	42%	52%	7%	—
スウェーデン	31%	65%	4%	—
スイス	6%	84%	10%	—
イギリス	54%	39%	7%	—
サウジアラビア	45%	50%	—	—
トルコ	84%	16%	—	—
香港	46%	44%	7%	5%
日本	76%	24%		—
シンガポール	—	61%	6%	3%
韓国	55%	31%	12%	—
台湾	65%	25%	5%	34%
タイ	77%	22%	1%	2%
南アフリカ	23%	71%	6%	5%
オーストラリア	18%	78%	4%	—
ニュージーランド	—	—	6%	—
アルゼンチン	42%	30%	4%	—
ブラジル	71%	28%	1%	—
チリ	13%	38%	3%	24%
メキシコ	56%	42%	2%	—
カナダ	10%	85%	5%	46%
アメリカ	97%		3%	3%

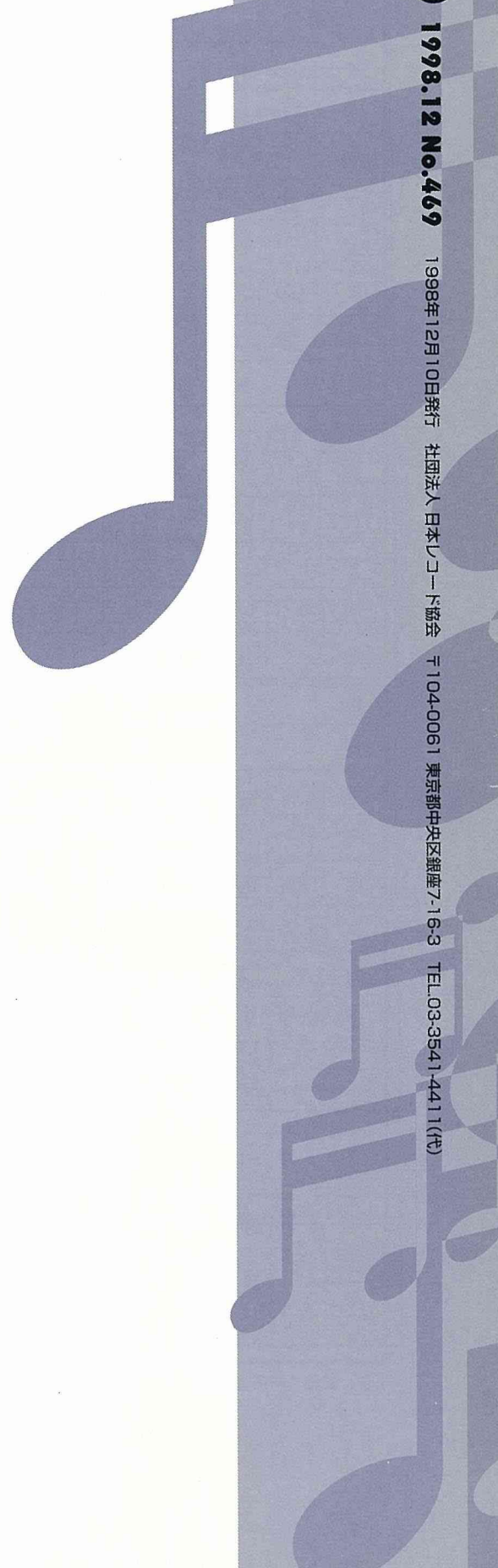
(注) 資料：IFPI (国際レコード産業連盟) 「The Recording Industry '98 in Numbers」から

THE RECORD

1998.12 No.469

1998年12月10日発行 社団法人日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 TEL.03-3541-4411(代)



RIA
Recording Industry Association of Japan

1998年12月号

発行人 池口 頌夫

編集人 木村 三郎

発行日 1998年12月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>